令和６年度法人本部事業報告

１ 法人事業活動の全体概要

(1)　令和６年度の法人事業活動の全体概要は**「月別法人本部行事報告」**及び**「法人事業活動実績記録表」**のとおりである。

(2)　定款第１８条第３項の規定により、会長及び常務理事は職務の執行状況を理事会に報告しなければならないとされているため、**「会長への業務報告」**及び**「企画調整会議」**における報告・検討・協議の内容を理事会開催の都度報告した。

(3)　「会長への業務報告」の具体的内容は、**「会長への業務報告実績表」**のとおりである。

２　評議員会及び理事会

評議員会は２回、理事会は４回開催した。

３　監事による決算監査の実施

令和７年５月２日、令和６年度の法人・施設事業報告及び一般会計決算について受検した。

４　出納調査の実施

四半期ごとに出納調査を受検し、法人・施設の一般会計決算は、適正に運営・処理されている旨の認定を受けた。

５　財務会計システムに係る指導委託の実施

財務会計処理の適正化を図るため、四半期ごとに会計処理業者(税理士法人■■■■■■■■■)による法人本部、■■■、青山保育園、くろいしの保育園及びみたけ保育園の会計指導を受けた。

６　変更登記

令和6年6月4日、盛岡地方法務局に令和6年3月 31 日現在の資産総額の変更登記を行った。

７　法人自主事業研究会

(1) 企画調整部会

ア　中長期計画策定のため「中長期計画策定委員会」を組織し、職員から各施設の「目指すべき姿」や「課題」について寄せられた意見などを基に検討し、計画を取りまとめた。

イ　保育園における労務管理上の課題を検討し、職員の働きがいを高めるため、休暇制度の充実や柔軟なシフト編成ができるよう就業規則を改正することとした。

(2) 保育園運営部会

中長期計画策定委員会に参画し、各施設の基本理念・方針、目指すべき姿、課題と強み等について検討を行った。

(3) 保健部会

ア　長期的課題として、「子どもへの保健指導（教育）のあり方の検討」をテーマとし、子どもの他に保護者や職員も対象とした性にまつわる支援のあり方について検討した。

イ　短期的課題として、「職員の心の健康に関する実態調査」をテーマとし、労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストを活用した調査及び集計を行った。

(4) 栄養部会

ア　食育計画の数値目標の達成状況を確認した。

イ　保育園に通う子どもの家庭における朝食の状況や生活リズムを把握するため、「朝食・生活リズムに関するアンケート」を行い、乳幼児の望ましい食習慣の定着に向けた食育の取組みに努めた。

ウ　法人創立記念日（４月 10 日）、豆腐の日（10 月２日）、鮭の日（11 月 11 日）、冬至（12 月 22 日）を法人内４施設の「統一献立の日」として、地場産品を取り入れた同一メニューを提供することにより、地産地消を推進し、食事サービスの質の向上と安定化に努めた。

令和６年度　月別法人本部行事報告

月別	理事会・評議員会等	財務関係等	会長への業務報告等
４月	法人創立記念行事	税理士法人監査 会長決裁 決算監査（出納調査）	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
５月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況） 定時評議員会	決算会議 文書保存・整理（本部、全施設）	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議
６月		資産総額変更登記 現況報告 保存文書廃棄	事務局会議 企画調整会議
７月		財務諸表等開示 税理士法人監査 会長決裁 出納調査	事務局会議 企画調整会議 会長への業務報告
８月			事務局会議 企画調整会議
９月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況）	予算編成会議	事務局会議 議案等検討会議 中長期計画策定委員会 企画調整会議
１０月		税理士法人監査 会長決裁 出納調査	事務局会議 中長期計画策定委員会 企画調整会議 会長への業務報告
１１月			事務局会議 企画調整会議
１２月	三役会議・役員情報交換会 理事会（会長等職務の執行状況）	予算編成会議 会長決裁	事務局会議 議案等検討会議 中長期計画策定委員会 企画調整会議
１月		税理士法人監査 会長決裁 出納調査	事務局会議 中長期計画策定委員会 企画調整会議 会長への業務報告
２月			事務局会議 企画調整会議
３月	三役会議 理事会（会長等職務の執行状況） 評議員会	予算編成会議 会長決裁	事務局会議 議案等検討会議 企画調整会議

令和６年度 法人事業活動記録表

区　　分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
創立記念事業 （役職員表彰・交流会）		●10											
三役会議			●8				●19			●13			●7
役員情報交換会										●13			
理事会			●13				●27			●19			●12
評議員会			●30										●25
税理士法人監査		●16～19			●9～11			●8～10			●15～17		
決算監査		●30											
出納調査		●30			●29			●28			●27		
行政指導監査							●4						
事務局会議		●2	●2	●3	●1	●1	●2	●1	●1	●2	●7	●3	●3
予算編成・決算会議			●2				●2			●2			●3
議案等検討会議			●7				●13			●9			●5
企画調整会議		●22	●17	●24	●25	●19	●17	●24	●22	●16	●20	●21	●21
中長期計画策定委員会							●17	●24		●16	●20		
会長決裁		●26			●26			●25		●2	●22		●3
会長への業務報告		●26			●26			●25			●22		
評議員選任解任委員会			●16										
評議員改選			●30										
施設間交流研修													
ぽっぽマート													
法人自主 事業研究会	合同部会												
	企画調整	●			●		●	●		●	●		●
	保育所運営						●	●		●	●		
	保健								●		●		●
	栄養						●					●	
財務状況等開示					●1								
資産総額変更登記				●4									
現況報告				●17									
ホームページ更新					●1								
文書保存・整理			●31	●10 廃棄									

令和６年度　会長への業務報告実績表

回	月日	報告事項	協議事項
1	4/26	・保育園の入所児童の状況等	・令和６年度第１回理事会 ・評議員選任・解任委員会 ・令和６年度定時評議員会 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・退任する評議員への感謝状贈呈 ・令和５年度青山保育園・みたけ保育園拠点区分決算に係る当期末支払資金残高 30%超
2	7/26	・登記等手続き等の状況 ・県・市社会福祉大会表彰対象者の推薦 ・令和６年度指導監査日程及び結果 ・地域活動事業 ・保育園の入所児童の状況等	・中長期計画の策定 ・苦情解決事業第三者委員及び苦情解決責任者合同会議の開催 ・臨時職員に係る永年勤続表彰のあり方 ・特定就職困難者雇用開発助成金の返還に係る会計処理の修正等
3	10/25	・全国・県・市社会福祉大会表彰対象者の決定 ・中長期計画の策定 ・保育園の入所児童の状況等	・令和６年度法人及び保育所指導監査結果への対応 ・令和６年職員の給与の取扱い ・監事から指摘のあった課題への対応 ・職員の人事異動のあり方
4	1/22	・令和６年度措置費、公定価格の改定 ・令和６年度「朝食・生活リズムに関するアンケート」の調査結果 ・保育園の入所児童の状況等	・中長期計画の策定 ・定款ほか、諸規程の改正 ・正職員保育士登用試験実施結果及び令和７年度の体制 ・■■■からの■■■■■■■■撤退 ・地域活動事業 ・令和７年度事業計画及び当初予算の策定方針

令和６年度青山保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

１　一般保育事業の状況

（１） 保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は２９３日（休園は日曜祝日及び年末年始６日間)。

保育時間は午前７時から午後６時まで。

（２）入園児の状況

ア　令和６年度に定員を２０名減少させて１６０名とし、年度当初は９クラス１４１名でスタートした。

イ　年間総数は、１，８０５名（充足率９４．０％）で前年度比１５８名の減となった。

ウ　発達支援保育事業の対象児童は３名であった。（前年度２名）

２　特別保育事業等の状況

（１） 延長保育事業

ア　延長保育は、午後６時から７時までの１時間延長を実施した。

イ　年間利用人数は４０５名（月平均約３４名）となり、前年度比１０３名の減となった。

（２） 地域活動事業

ア 5歳児が地域の企業に協力して街に潤いを与える活動(看板へのお絵描き)を実施した。

イ 11月勤労感謝の日に因んで地域の消防署と警察署に4歳児が制作したメッセージボードを贈呈した。

ウ 高校生の保育体験学習、中学生の職場体験学習を次のとおり受け入れ、園児との交流を図った。

県立盛岡第二高校　1名	盛岡誠桜高校　3名	盛岡中央高校　1名
盛岡スコーレ高校　1名	県立盛岡北高校　1名	岩手女子高校　1名
盛岡市立北陵中学校　3名		

エ 盛岡市による赤ちゃんの駅「DAKKO」の継続指定を受けた。

オ 園開放は事前予約制とし、13名の利用があり、前年度比7名増となった。

（３）一時預かり事業

年間利用児童数は４３名で、前年度比８名の増となった。

（４）その他の取組

ア　各クラスで年１回保護者懇談会を実施したほか、１７名の児童について個別懇談を行った。

イ　発達上の課題が見られる児童１０名の支援のあり方について、児童発達支援に知見を有する指導員から年４回コンサルテーションを受けた。

ウ　関係自治体のこども家庭センターからの依頼を受け、要保護児童対策地域協議会の管理対象児童２名について、定期的な情報提供及び保護者支援を行った。

エ　保育実習生３名（盛岡誠桜高校専攻科、盛岡大学短期大学部、県立大学社会福祉学部各１名）を受け入れ指導を行ったほか、保育士養成校との意見交換会に園長が参加した。

オ　５歳児の就学先となる小学校８校の幼・保・小連絡会議に保育士が参加し、情報交換等を行った。

３　施設整備の状況

次により、安心・安全な保育環境の整備を図った。

ア　1歳児保育室のタイルカーペット、児童用椅子及びテーブルを更新した。

イ　1歳児及び2歳児の保育室のエアコンの更新を行った。

ウ　複合遊具のデッキ木部及びクライム用ネットの交換を行った。

エ　避難口誘導灯の器具不良個所3か所の交換を行った。

オ　園舎外周全てを監視できるよう、 防犯カメラの更新及び増設を行った。

カ　防災対策として、無停電電源装置、パーテンション及び備蓄食糧を購入した。

４　安全対策及び事故防止

（１）日常の安全管理

ア　保育環境の安全管理のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。

イ　乳幼児突然死症候群予防のため午睡チェック表、午睡チェックセンサーによる点検を毎日実施した。

（２）危機管理

ア　園の消防計画に基づく避難訓練を12回（毎月1回。うち2回は消防総合訓練）実施した。また、園のBCP（業務継続計画）に基づき、園外への避難場所（青山児童センター）への避難訓練も行った。

イ　園の安全計画に基づく不審者対応の訓練を盛岡西警察署の協力を得て実施した。

ウ　盛岡西消防署に依頼して、救命救急講習会を行った。

エ　非常用自家発電機の操作訓練を毎月実施した。

（３）事故防止

ア　保育中の事故で医療機関受診に至ったものは11件発生した。

事故の内容：顔の裂傷2件、指の打撲2件、歯の打撲、口唇と歯茎の打撲、足首の骨折、肘内障、肘の捻挫、目に砂が入る、舌を噛む

イ　事故防止については、保健研修会（毎月1回実施）においてヒヤリハット事例（7件）や事故報告書（21件）をもとに検証し、再発防止に努めた。また、夏場のプール活動においては、監視に専念する職員を常時配置した。

５　感染症等対策の状況

（１）感染性胃腸炎等感染症について

以下の感染症が見られたが、重症者はなかった。

ア　8月、新型コロナウイルス感染症に27名（園児20、職員7）が罹患し、保健所に報告。

イ　8月中旬～10月、手足口病に園児61名がり患し、保健所に報告。

ウ　10月中旬～11月上旬、感染性胃腸に園児18名が罹患。保健所に報告し、9名の便検査を行った結果、全員からエンテロウイルスが検出される。

エ　3月上旬、インフルエンザＡ型に12名（園児10、職員2）がり患し、保健所に報告。

オ　3月中旬、感染性胃腸炎に17名（園児16、職員1）がり患し、保健所に報告。

上記以外にも、原因不明の発熱、咳、発疹の症状、伝染性紅斑（りんご病）などが見られた。

（２）啓発等の対応について

随時「ほけんだより」を発行して、保護者に感染症対策の啓発に努めるとともに、園内の玩具や保育室、砂場等を消毒した。行事については、園の BCP（業務継続計画）に基づき、参加人数、場所などを検討・制限して実施した。

６　給食事業の状況

給食は「食育」（食を営む力の育成）の一環として重要なものと位置付けており、保護者に献立表を配付するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告して、保育室と厨房における情報共有に努めた。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、衛生環境改善のため電解水を活用するなど、食中毒の防止に取り組んだ。

（１）手作りの和食

給食は安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、煮干しやかつお節でダシを取って薄味にし、冷凍食品や加工食品を極力使用せずに手作りに努めた。

（２）給食種別

離乳食が2，521食（前年比575食増）、1・2歳児食が10，944食（前年比2，265食減）、3歳児以上食が20，027食（前年比567食減）、卵や乳製品などを含まない除去食は310食（前年比235食減）で、計33，802食（前年比2，492食減）を提供した。

（３）おやつ給食

午前は乳児に、午後は全児童におやつを給し、極力手作りに努めた。

（４）副食代の徴収

3歳以上児の副食代（月5，200円）の令和6年度の徴収率は100％であった。

７　職員の資質向上

（１）研修

職員の専門性の向上のため、各種研修会へ参加するよう努めた。

保育の質の向上を図るため各種園内研修も実施し、職員間の連携強化や共通理解を深め、協働性を高めることに努めた。

ア　園内研修を２２回（保健研修１１回、全体研修１１回（救命救急講習、子どもの支援と関係機関連携、リズム研修、遊びの役割を再認識しましょう、ことばの遅れが気になるこどもの理解支援　各２回、年度末振返り研修１回））実施した。

イ　園外研修に延べ１８名（WEB も含む。）参加。感染防止対策のため県外研修への参加は極力控えた。

（２）自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行い、それに基づき自己評価委員会において保育園自己評価を実施し、令和７年度の保育指導計画等に反映させた。また、「不適切な保育からの脱却チェックリスト」を用いてセルフチェックした結果を職員にフィードバックした。

８　苦情解決処理

令和6年度中に要望・苦情は7件（保育士の対応・態度、駐車場の利用マナー、落葉の被害）寄せられたが、苦情申立者からの「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決の手続きの希望はなかった。要望・苦情には丁寧に対応し、改善に努めるとともに、法人のホームページで公表した。

９　青山保育園行事報告

各行事は、各種感染症の感染防止対策を行ったうえで、参加人数の制限・時間短縮などの対応をとり実施した。

月別	園　業　務　関　係
定例	職員会議（毎月前期・後期で実施）、給食会議、環境安全点検、年齢別会議、クラス打合せ、園内職員研修、保健研修、給食従事者及び０歳児保育者の検便、給食従事者会議、避難訓練、誕生会、お弁当の日（３歳児以上・年３回）、身長体重測定、園・クラスだより発行、発達支援児巡回指導（年４回）、園開放、献立表発行
随時	保健だより（７回）、保育実習受入れ（３名）、体験保育受入れ（１１名）、個別面談、幼・保・小連絡会、野菜の栽培・収穫体験、クッキング
４月	入園・進級式（1）、保育参観５歳児（11）、父母の会総会（17）、看板お絵描き会（５歳児）（24）
５月	サッカー教室(8.20)、親子遠足（３・４・５歳児）（16）、歯科健診(21)、不審者対応訓練(24)、内科健診(30)
６月	耳鼻科健診（5）、サッカー教室(6.13.25.26)、年長児レク(8)、保育参観１歳児(14.24)、保育参観３歳児(18.20)、歯磨き指導（５歳児）（18）、お話し会（４・５歳児）（19）、眼科健診(19.28)、消防総合訓練(21)、保育参観２歳児(25.26)、
７月	交通安全教室(1)、夕涼み会（5）、お話し会（４・５歳児）（9.10）、お話し会（３歳児）（18）
８月	
９月	運動会（０・１・２・３歳児）（20）
１０月	運動会（４・５歳児）（2）、徒歩遠足（３歳以上児）（11）、サッカー教室（17）、消防総合訓練(22)、やきいも会(25)
１１月	作品展（３歳以上児）（1～7）、徒歩遠足（３歳以上児）（1）、作品展（４歳児）（8～14）、内科健診（14）、作品展（5歳児）（15～22）、勤労感謝職場訪問(15)、体育遊び（３歳児）（22）、父母会親子レク（23）
１２月	発表会（０・２・３歳児）（6）、発表会（１・４・５歳児）（20）、クリスマス会(24)
１月	交通安全教室(8)、おみせやさんごっこ（23.24）
２月	豆まき会(3)、卒園・進級写真撮影（20）、サッカー教室(27)
３月	ひなまつり会(3)、入園説明会(19)、卒園式（22）、お別れ会(25)

10 令和6年度入所児童数統計

(1) 入所児童数の状況

（単位:名）

月 / 年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
0歳児	7	8	9	11	13	14	14	16	18	20	21	21	172	135
1歳児	20	20	20	20	20	20	18	17	17	18	18	18	226	345
2歳児	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348	372
3歳児	27	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	356	343
4歳児	29	28	28	28	28	29	29	29	29	29	29	29	344	384
5歳児	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	359	384
計	141	144	146	148	150	152	150	151	153	156	157	157	1,805	1,963

盛岡市1,658名　　滝沢市 147名

(2) 延長保育事業児童数の状況

（単位:名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
1時間	30	31	32	34	36	33	35	34	33	32	38	37	405	508

(3) 一時預かり事業利用児童数の状況

（単位:名・件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
受入日数	0日	11日	8日	4日	1日	0日	7日	5日	3日	1日	0日	2日	42日	35日
0歳児			1	1			2		2				6	1
1・2歳児		12	7	3	1		5	5	1	1		2	37	24
3歳以上													0	10
計	0	12	8	4	1	0	7	5	3	1	0	2	43	35

(4) 園開放の状況

（単位:名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
実施回数	1回	2回	2回	2回	1回	2回	2回	2回	0回	1回	2回	1回	19回	19回
0歳児			1										1	0
1・2歳児		2	1	3	1	1	2	1				1	12	6
計	0	2	2	3	1	1	2	1	0	0	0	1	13	6

(5) 給食費(副食代)徴収児童数の状況

（単位:名・%）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
対象児童	63	62	63	63	63	64	64	64	64	64	64	64	762	809
徴収数	63	62	63	63	63	64	64	64	64	64	64	64	762	809
徴収率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(6) 年齢別委託費の状況

（単位 ： 円）

	標準	短時間
0 歳 児	228,320	224,490
1 ・ 2 歳 児	136,500	132,670
3 歳 児	72,870	69,040
4 歳 児 以 上	54,790	50,960

※令和7年2月1日現在

(7) 職員数の状況

（単位 ： 名）

職 種	人数	職種	人数
園長	1	臨時保育士	8
主任保育士	1	臨時調理員	4
副主任保育士	1	時間給保育士	14
保育士	9	時間給調理員	1
看護師	1	時間給園務員	1
栄養士	1	保育補助員	2
事務員	1	小計	30
小計	15	合計	45

※令和７年３月31日現在

(8) 健康診断実施状況

（単位 ： 名）

区分	実施年月日	担当医	受診者数
内 科	5月30日 11月14日	齋藤明宏	140 145
歯 科	5月21日	吉田大徹	143
眼 科	6月19日 6月28日	三善 恵	140
耳 鼻 科	6月5日	佐藤護人	140

令和６年度くろいしの保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

１ 一般保育事業の状況

（１） 保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は２９３日（休園は日曜祝祭日及び年末年始６日）。

保育時間は午前７時から午後６時まで。

（２）入園児の状況

ア　年度当初は定員１１０名に対し９８名でスタートした。

イ　年間総数は、１，２５４名（充足率９５．０％）で前年比１９名の減となった。

ウ　発達支援保育児童はいなかった。

２　特別保育事業等の状況

（１） 延長保育事業

ア 延長保育は、午後6時から8時までの2時間延長を実施した。

イ 年間利用人数は1時間が267名（月平均約22名）、2時間が17名（月平均1名）となって、前年比16名の増加となった。

（２） 地域活動事業

ア 7月に黒石野中学生約140名、10月に緑が丘小学校生（2年生）14名を受け入れ、園児との交流を図った。

イ 勤労感謝で地域の職場2か所を訪問し交流した。

ウ 乳幼児と保護者を対象とした園開放を実施し、延べ24名の親子の参加があった。

エ 赤ちゃんの駅「DAKKO」及び福祉避難所の継続指定を受けた。

（３）体調不良児対応型病児保育事業の実施

ア 年間利用児童は87名（月平均約7名）となっており、感染症拡大防止につながった。

イ 保健相談は、16件（月平均約1．3件）で育児不安の解消につながった。

（４）その他の取組

ア 随時保護者からの希望に応じて懇談・支援を行うほか、各クラスで時期を決めてほぼすべての保護者との個別面談により心配ごとなどを聞いた。3歳児以上はクラス懇談会も開催した。

イ 発達面で課題が見られる児童6名に関し、児童発達支援について知見を有する指導員から年4回巡回指導を受けた。

ウ 保育実習生2名（名寄市立大学、盛岡大学）を受入れて指導し、保育士の育成を支援した。

エ 5歳児の就学先となる小学校の幼・保・小連絡会等に担当保育士が参加し、小学校への円滑な接続につなげた。

３　施設整備の状況

（1）園舎屋根塗装工事

園舎の屋根が経年劣化により塗装が必要となったことから、保育所施設・設備整備積立資産を取崩し、屋根塗装工事を実施した。（工期：10/7～11/15、工事費用6,325,000円）

（2）その他の整備

ア　受電設備の高圧気中開閉器及び高圧ケーブルが耐用年数を経過したため、更新した。

イ　正門門扉からの子どもの飛び出しを防ぐため、掛金錠を増設した。

ウ　遊戯室脇の雨樋の冬季の凍結を防止するため、ドレンヒーターを設置した。

エ　保育室出入口等の建具レールが経年劣化により摩耗・変形して開閉に支障があるため、修繕した。

オ　保育室及び廊下のLED照明が耐用期間を経過したため、44灯を更新した。

4　安全対策及び事故防止

（1）日常の安全管理

ア　大型遊具の専門業者による安全点検及び砂場の衛生検査を実施した。

イ　非常時用発電機の定期的始動訓練を実施した。

ウ　保育環境の安全管理のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。

エ　乳幼児突然死症候群予防のための午睡チェックセンサー（ベビーセンス 1 台）点検を毎日実施した。

（2）危機管理

ア　園の消防計画に基づき、盛岡市指定避難所及び非常時避難場所協定締結事業所2か所への避難訓練も含めた毎月の避難訓練実施及び消防署立会いの総合防災訓練を 2 回実施した。

イ　日赤職員の派遣を依頼して「子どもの手当と救急」の講習会を開催し、AED・心肺蘇生法を含む救急対応について学んだ。

ウ　SECOM の協力による不審者対応訓練を実施した。

（3）事故防止

ア　保育中の事故は2件（転倒して鼻出血1、徒競走中に転んで左肘を擦りむく1）であった。

イ　受診を伴わない保育中の事故報告は51件であった。

ウ　事故防止対策については、職員会議及び保健委員会において、ヒヤリハット事例(21件)や事故報告書をもとに検証し、再発防止を図った。

5　感染症等対策の状況

（1）感染性胃腸炎等について

令和7年1月15日以降、感染性胃腸炎で欠席する園児が多数見られ（2月2日までに16名）、保健所に報告し指導を受けた。

（2）インフルエンザ及び新型コロナウイルスについて

インフルエンザは年間で園児11名、職員3名の発症があった。新型コロナウイルス感染症は年間で園児11名、職員6名の発症があった。いずれのり患でも、重症者はいなかった。

6　給食事業の状況

給食は「食育」（食を営む力の育成）の一環であり、重要な位置付けとなっていることから、保護者に献立や園児に人気のあるメニューのレシピを配布するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告した。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、電解水を活用するなど

食中毒の防止に取組んだ。

（1）手作りの和食

給食は、安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、煮干しやかつお節でダシを取り、薄味にして冷凍食品や加工食品をできるだけ使わず手作りを心がけた。

（2）給食種別

離乳食が1,922食（前年比489食減）、1・2歳児食が7,632食（前年比205食増）、3歳児以上食が12,327食（前年比569食増）、うち卵や乳などを除く除去食は330食（前年比109食増）で、合計21,881食（前年比285食増）を提供した。

（3） おやつ給食

おやつは午前には乳児に、午後は全児童に給し、できるだけ手作りを心がけた。

（4）副食代の徴収

3歳以上児の副食代（月5，500円）の令和6年度の徴収率は100％であった。

7　職員の資質向上

保護者及び園児から信頼を得られるよう、職員が協同して一体感のある職員体制の確立及び業務の質の向上に努めた。

（1）研修

保育所の役割や機能が多様化して拡大している中で、一人ひとりの職員の専門性の向上のため、各種研修に参加しスキルアップを図った。

また、保育所全体の保育の質の向上を図るため、職員間の連携強化や共通理解を深め、協働性を高めるための各種カンファレンスを実施した。

ア　園内研修１６回実施（リズム運動（基本・応用）、絵画・製作活動、保護者支援・対応、事故・応急対応、行事の振り返り、嘔吐処理、年度末反省など）

イ　園外１８研修（ＷＥＢも含む。）への参加（参加人員延べ３８名）

（2）自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行い、それに基づき自己評価委員会において保育園自己評価を行い、令７年度の保育指導計画等に反映させた。また、「年度末反省」シートにより各自が１年間の保育全般を振り返り、次年度に目指す保育を確認した。

8　苦情解決処理

令和6年度における苦情等は2件（小学生の兄との関連で園児の近況の問い合わせ1件、保育士の口調や言葉遣い1件）寄せられたが、「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決（第三者委員の立会い等）の希望はなかった。

９　くろいしの保育園行事報告

月別	園業務関係
定例	職員会議（毎月前期・後期で実施)、給食委員会、環境安全点検、年齢別会議、クラス打合せ、園内外研修、保健研修、給食従事者及び０歳児保育者の検便、避難訓練、誕生会、園開放（年１５回)、身長体重測定、園・クラスだより・献立表及び給食だより発行、発達支援児巡回指導（年４回)、保育参観（各クラス年１回)
随時	クッキング(９回)、保健だより、保育実習の受入れ(２名)、中学生の保育体験（約１４０名、園芸体験及び収穫体験、３歳以上児の異年齢児交流保育(５回)、クラス懇談会、個別面談、親子ふれあい教室（各クラス１回)
４月	入園・進級式（1)、内科健診(26)
５月	父母の会総会（1)、眼科健診（9)、親子遠足（３～５歳児（22)、交通安全教室(28)、耳鼻科健診(29)
６月	歯科健診(6)、園外保育(弁当の日)(11)、いのちのおはなし会(21)、サッカー教室(25)、
７月	夏祭り会（6)、ごみとリサイクルの啓発教室(10)、消防総合訓練（11)、職員健康診断（18)
８月	キッズ・レッツ・プレイ(30)
９月	内科健診（5)、サッカー教室（6)、シェイクアウト訓練(12)、交通安全教室(17)
１０月	運動会(5)、園外保育（弁当の日）（8、18)、父母の会幹事会(11)、
１１月	焼き芋会（6)、サッカー教室（12)、消防総合訓練(14)、誕生会・読み聞かせ演奏会（20)、勤労感謝訪問(22)
１２月	発表会（6)、父母の会幹事会(10)、クリスマス~~誕生~~会（24)、もちつき会(26)
１月	みずき団子会（9)
２月	豆まき会(3)、お店屋さんごっこ（24)、お茶会(25)、不審者対応訓練（26)
３月	ひなまつり誕生会(3)、卒園式(15)、入園説明会(10、19)、お別れ会（19)

10 令和６年度入所児童数統計

（1） 入所児童数の状況

（単位:名）

月 / 年齢	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
0歳児	18	6	6	8	10	12	12	13	14	14	15	15	15	140	180
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	216
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	216
3歳児	18	18	19	19	19	19	19	19	19	18	19	19	19	226	205
4歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	228
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240	228
計	110	98	99	101	103	105	105	106	107	106	108	108	108	1,254	1,273

※盛岡市以外(滝沢市)からの委託児童延べ24名を含む。

（2） 延長保育事業児童数の状況

（単位:名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
1時間	23	22	25	24	29	24	20	16	20	20	21	23	267	268
2時間	0	0	1	0	0	0	3	7	2	1	3	0	17	12
計	23	22	26	24	29	24	23	23	22	21	24	23	284	280

（3） 園開放の状況

（単位:名）

月 / 年齢等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
実施回数	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	15	15回
0歳児	1	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	8	2
1･2歳児	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3
計	1	2	1	0	0	2	2	1	1	0	0	0	10	5

※新型コロナウイルス感染予防のため、1日1組･事前申込制で実施した。

（4） 体調不良児対応型病児保育事業利用児童数等の状況

（単位:名･件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
児童数	17	10	3	4	6	6	7	5	3	7	7	12	87	201
相談件数	2	0	2	2	2	2	3	1	0	1	1	0	16	13

（5） 給食費徴収児童数の状況

（単位:名･%）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度
対象児童	50	50	50	50	50	47	47	46	45	47	47	47	576	553
徴収率	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

（6）　年齢別委託費の状況

（単位 ： 円）

	標準	短時間
0　歳　児	234,490	229,000
1・2 歳 児	142,670	137,180
3　歳　児	79,040	73,360
4 歳 児 以 上	60,960	55,280

※令和7年2月1日現在

（7）　職員数の状況

（単位 ： 名）

職　種	人数	職種	人数	職種	人数
園長	1	臨時保育士	8	時間給保育士	10
主任保育士	1	臨時看護師	1	時間給調理員	2
副主任保育士	1	臨時調理師	1	時間給園務員	1
保育士	4	臨時調理員	1	小計	13
看護師	1	小計	11		
栄養士	1			合計	34
事務員	1				
小計	10				

※令和7年3月31日現在

（8）　健康診断実施状況

（単位 ： 名）

区分	実施年月日	担当医	受診者数
内　　科	4月26日	佐々木美香	96
	9月5日		105
歯　　科	6月6日	宮田右京	101
眼　　科	5月9日	小笠原孝祐	99
耳　鼻　科	5月29日	齋藤達雄	99

令和６年度みたけ保育園事業報告

園の運営管理規程及び全体的な保育計画に基づき、次の事業を実施した。

１　一般保育事業の状況

（１）　保育開設日数及び保育時間

保育開設日数は 293 日(休園は日曜・祝日及び年末年始 6 日)

保育時間は午前 7 時から午後 6 時まで

（２）　入園児の状況

ア　年度当初は定員 130 名に対し、118 名でスタートした。

イ　年間延べ 1,510 名(充足率 96.8%)の利用であったが、前年度より 34 名の減となった。

ウ　発達支援保育事業の対象児童は 1 名であった。

２　特別保育事業等の状況

（１）　延長保育事業

ア　延長保育は、午後 6 時から 8 時までの 2 時間延長を実施した。

イ　年間利用人数は、1 時間利用が 307 名(月平均 26 名)、2 時間利用が 48 名(月平均 4 名)の合計 355 名であった。前年度に比較して 47 名の利用減となった。

（２）　地域活動事業

ア　ひまわり学園との交流事業をそれぞれの施設で実施した。

イ　5 歳児が、地域の企業が取り組んでいる街に潤いを与える活動（看板へのお絵描き）に参加した。

ウ　高校生の保育体験学習を受け入れ、園児との交流を図った。

【高校別受入人数】

県立盛岡第二高校	1 名	県立盛岡第四高校	1 名
県立盛岡北高校	1 名	盛岡市立高校	2 名
盛岡誠桜高校	2 名		

また、盛岡市立厨川中学校 3 年生（120 名程度）の職場体験を受け入れた。

エ　盛岡市による赤ちゃんの駅「DAKKO」及び「福祉避難所」の指定は継続して受けた。

オ　地域の方々の協力をいただき、畑づくりや野菜の栽培を通じて園児との交流等を図った。

（３）　体調不良児対応型病児保育事業の実施

ア　年間利用児童は 155 名(月平均 13.0 名)で、前年度と比較して 102 名（月平均 8.5 名）減少した。

イ　保健相談は、20 件(月平均 1.7 件)で、前年度と比較して 6 件減少した。

（４）　その他の取組

ア　各クラスで保護者との個別懇談会を実施し、子どもの情報の共有、相互理解に努めた。

イ　家庭内における養育上の課題や問題を有するケースについて、自治体が開催する応援会議に参加して必要な保護者支援を行うとともに、定期的な情報提供に努めた。

ウ　発達上の課題が見られる児童について、障害に関する専門的知見を有する者からの巡回指導を年 4 回受けるとともに、カンファレンスを行った。

エ　5 歳児の就学先となる小学校 9 校の幼・保・小連絡会議に保育士が参加し、情報交換等を行うことにより小学校への円滑な接続に努めた。

オ　園児を対象にフルート奏者（4名）による演奏会を開催したほか、父母会と共催で子育て講演会を開催した。

３　施設整備の状況

（１）　施設設備関係

厨房配膳棚戸車交換及び調整工事、テーブル転倒防止用チェーン設置、遊戯室照明交換工事等を行った。

（２）　防災用品関係

熱暑対策用テント（目隠し横幕付）を購入した。

４　安全対策及び事故防止

（１）　日常の安全管理

ア　保育環境の安全確保のため、「環境整備・遊具点検チェック表」により施設、遊具、玩具、用具、園庭を毎月点検し、安全性の確保や機能の保持に取り組んだ。

イ　乳児の睡眠中の安全を確保するため、仰向けに寝かせるなど窒息や乳幼児突然死症候群（SIDS）等への配慮を行うとともに、顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察した。

（２）　危機管理

ア　消防計画に基づき、「盛岡市シェイクアウト」への参加を含め、毎月、避難訓練を実施した。また、盛岡西消防署立ち合いのもと、消防総合訓練を年2回（6月と10月）実施した。

イ　盛岡西警察署に協力を依頼し、防犯教室及び不審者対応訓練を年1回（2月）実施した。

（３）　事故防止

ア　ヒヤリハット・事故報告事案は60件であった。このうち、ケガによる通院受診は3件であった。（ケガの内容：歯の亜脱臼、打撲1件、耳輪打撲1件、肘打撲1件）

イ　職員会議において、ヒヤリハット事例や事故報告書をもとに検証し、再発防止に努めた。

５　感染症等対策の状況

（１）　コロナウイルス感染症について

ア　園児延べ10名、職員8名がり患したが、入院等の重症者はいなかった。

イ　手洗いやうがい、消毒など基本的な感染対策を継続した。

（２）　感染性胃腸炎等感染症について

ア　令和7年2月5日、園児2名に嘔吐・下痢症状が見られ、その後、同症状による園児が一定数を超えたことから、2月13日、盛岡市保健所に報告した。2月17日、同保健所による電話での聞き取りが行われ、経過報告を求められた。2月27日以降、新たな発症者はなく、3月2日で収束した。

イ　インフルエンザについては、2月25日に1名がり患し、その後、同症状による園児が一定数を超えたことから、3月3日、盛岡市保健所に報告した。3月7日、同保健所による電話での聞き取りが行われ、経過報告を求められた。3月17日以降、新たな発症者はなく、3月20日で収束した。

６　給食事業の状況

給食は、「食育」（食を営む力の育成）の一環として重要な位置づけとなっていることから、保護者に献立を配布するとともに、喫食状況や体調の変化なども随時報告して保育室と厨房の情報共

有に努めた。

また、給食衛生管理マニュアルに沿って厨房の衛生管理を徹底するとともに、衛生環境改善のため、電解水を活用するなど食中毒の防止に取り組んだ。

（1） 手作りの和食

安心・安全な食材を確保し、和食を中心とした季節の材料を取り入れ、食育の日(毎月 19 日)には郷土料理等を提供した。また、昆布・いりこ・かつお節で出汁を取り、薄味にして冷凍食品や加工食品をできるだけ使用せずに手づくりに努めた。

また、4 月 10 日（法人創立記念日)、10 月 2 日（豆腐の日)、12 月 22 日（冬至）は、法人 4 施設の「統一献立の日」とされ、地場産品を取り入れた同一メニューを提供した。

（2） 給食種別

物価高騰等により、食材の確保に困難なこともあったが、給食の安定的な提供に努めた。また、季節の行事やイベントなどに合わせた行事食や子どものリクエストメニューなども提供した。提供した給食の種別は、離乳食が 2,066 食(前年度比 216 食減)、1・2 歳児食が 10,768 食(前年度比 27 食増)、3 歳児以上食が 15,633 食(前年度比 582 食減)、計 28,467 食(前年度比 851 食減)であった。(卵や乳などを除く除去食 517 食を含む。)

（3） おやつ給食

おやつはできるだけ手づくりとし、午前は乳児に午後は全児童に提供した。

（4） 副食費の徴収

3 歳以上児の副食費(月 5,200 円)については、100%の徴収率であった。

7 職員の資質向上

（1） 研修

保育所の役割や機能が多様化、拡大しているなか、一人ひとりの職員の専門性の向上を図るため、各種研修会に参加した。また、保育の質の向上を図るため、職員間の連携強化や協働性を高めるための各種園内研修等を実施した。

ア 園内研修：21 回実施(テーマ：園内研修の進め方、保育園で行う点呼、救命救急法の習得（乳幼児の誤飲時の対応)、保育に取り入れたいわらべうた、感染症予防対策、腰痛予防体操等)

イ 園外研修：対面による研修参加（37 研修、参加延べ 46 名)、オンラインによる研修（参加延べ 19 名）

（2） 自己評価

保育士自己評価及びクラス別自己評価を行うとともに、自己評価委員会において保育園自己評価を行い、令和 7 年度の保育指導計画等に反映させた。

8 苦情解決処理

令和 6 年度における意見・要望・苦情等は 3 件（保育内容や保育者の対応に関するもの：2 件、その他：1 件）寄せられたが、「福祉サービスに係る苦情解決事業実施要綱」に基づく苦情解決（第三者委員の立合い等）の希望はなかった。意見・要望等には丁寧に対応して改善等に努めるとともに、法人のホームページで公表した。

９　みたけ保育園行事報告

月別	保育園	地域子育て支援センター
定例	職員会議(毎週木曜日)、環境安全点検、クラス打合せ、園内職員研修、避難訓練、誕生会、身長・体重測定、園・クラスだより発行、保健だより・給食だより発行、発達支援児巡回指導(年５回)	市内支援センター連絡会議（隔月)、園開放（毎週月～金の 8:30～12:00、14:30～16:00、遊びや交流の場)、身長・体重測定
随時	保育実習及び看護実習の受入れ	子育て相談（電話又は来園）
４月	入園・進級おめでとう会(1) 保育参観(3～5 歳児)(27)	身体測定、こいのぼりづくり(10.17.23) お話し会(19)、誕生会(25)
５月	耳鼻科健診(15)、眼科健診(16)、お話の会(21) 内科健診(22)、3D スポーツ(23) キッズ・レッツ・プレイ(30)	お散歩(8.10.13)、お話し会(17)、誕生会(21) 遊びの会(23)、離乳食講座(29)
６月	親子レク(14)、3D スポーツ(20)、歯科健診(27) 交通安全協室（28)	七夕づくり(7.12.18)、お話し会(14)、誕生会(21) リズム遊び(25)、遊びの会(27)
７月	プール学習(19)、夏祭り会(31)	身体測定、健康相談(5.10.11)、遊びの会(18) お話し会(19)、リズム遊び(23)、誕生会(25)
８月	プール学習(1)、お話の会(20)	感触遊び(6.21.22.28)、誕生会(27)
９月	ひまわり交流(4)、3D スポーツ(10)	ホールで遊ぼう(5.6.10)、誕生会(12) 遊びの会(19)、お話し会(20)
10 月	運動会(4)、内科健診(9)、ひまわり交流(16) やきいも会(18)、お話の会(22)、3D スポーツ(24)	身体測定、ハロウィンごっこ(9.10.16) ストレッチ(22)、遊びの会(24)、お話し会(25) 誕生会(28)
11 月	保育参加(0～2 歳児)(13)	お店屋さんごっこ(6.12.19)、遊びの会(14) お話し会(15)、誕生会(20)、感触遊び(22)
12 月	お楽しみ会(6)、ゴミとリサイクル教室(10) お話の会(19)、演奏会(20)、クリスマス会(24) 3D スポーツ(26)	クリスマスブーツづくり(13.17.23)、誕生会(11) 給食体験会(18)、お話し会(20)
１月	みずき団子づくり(10)、お話の会(15) お茶会(24)	身体測定、鬼の面づくり(8.14.16) お話し会(17)、誕生会(22) リズム遊び(28)
２月	節分豆まき(3)、レストランごっこ(7)、交通安全教室(10)、3D スポーツ(20)、防犯教室(21)	ひな人形づくり(5.12.14)、誕生会(17) お話し会(21)、リズム遊び(27)
３月	ひな祭り(3)、卒園式(15)、入園説明会(18) お話の会(19)、1 年生おめでとう会(21)	サーキット遊び(13.18.24)、お話し会(21) 誕生会(27)

１０　みたけ保育園地域子育て支援センター事業実績報告

【事業の趣旨】

子育ての不安や悩みの相談、親子での遊び、親同士の交流ができる場として保育園を開放するなど、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的とする。

【事業内容】

１　相談事業

目　的：乳幼児期の子育てについての不安を解消するために、電話又は来所による相談を行う。

日　時：毎週月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）9 時から 16 時（消毒のため 15 時 30 分）

相談員：園長、主任保育士、保育士、看護師、栄養士

２　広場事業

(1)　施設開放

目　的：親子で一緒に遊んだり、園児と遊んだり、親が育児について話し合い、親子が交流できる場を提供する。

日　時：毎週月曜日から金曜日（年末年始・祝日を除く）
8 時 30 分から 12 時、14 時 30 分から 16 時（感染防止対策の消毒のため 15 時 30 分）

会　場：みたけ保育園支援室・園庭

対　象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(2)　ぽっぽルーム

目　的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談、月１回身体測定をし、看護師との健康相談につなげる。

日　時：月 2 回程度（不定期）

会　場：みたけ保育園支援室・園庭

対　象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(3)　にこにこ赤ちゃん

目　的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日　時：月１回（第 2 金曜日）、10 時から 11 時

会　場：みたけ保育園支援室・相談室

対　象：0 歳児とその保護者及びその祖父母、妊婦

(4)　にこにこ１歳

目　的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日　時：月１回（第 3 水曜日）、10 時から 11 時

会　場：みたけ保育園支援室・他

対　象：1 歳児とその保護者及びその祖父母

(5)　にこにこ 2 歳

目　的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日　時：月１回（第 3 金曜日）、10 時から 11 時 30 分

会　場：みたけ保育園支援室

対　象：2 歳から就園する前までの子どもとその保護者及びその祖父母

(6)　あそびの会（出張遊び）

目　的：親子の交流や仲間づくり、遊びの提供や育児相談を行う。

日　時：月１回（第 2 火曜日）、10 時から 11 時 30 分

会　場：月が丘児童センター

対　象：1 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

３　学び事業

◎ 子育て講座

目　的：食事や病気について、手作りおもちゃや遊びの指導など。

日　時：月 2 回程度（不定期）

会　場：みたけ保育園支援室・相談室

対　象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

〈内　容〉

月	テ　ー　マ	会　場	内　　容
4 月	手づくり（こいのぼり）	支援室	身近にある材料で季節の飾りを作る。
5 月	散歩、園庭遊び	園　庭	遊びの提供と親同士の交流を図る。
6 月	離乳食講座	支援室	離乳食についての講座
	手づくり（七夕飾り		身近にある素材で季節のものを作る。
7 月	夏の健康講座	支援室	看護師による健康相談
8 月	絵の具遊び	支援室	絵の具を使って感触遊びを楽しむ。
	感触遊び		片栗粉と水の感触を楽しむ。
9 月	ホールで遊ぼう	青山公園	身体を動かす遊びを楽しむ。
	ベビーダンス	支援室	ベビーダンスをしてリフレッシュする。
10 月	ハロウィンごっこ	支援室	季節の行事を楽しむ。
11 月	お店屋さんごっこ	支援室	遊びの提供と親同士の交流を図る。
12 月	手づくり（クリスマスブーツ）	支援室	身近にある材料で季節の飾りを作る。
1 月	手づくり（鬼のお面）	支援室	身近にある材料で季節のものを作る。
2 月	手づくり（ひな人形）	支援室	身近にある材料で季節のものを作る。
3 月	サーキット遊び	支援室	身体を動かす遊びを楽しむ。

4　広報事業

◎　ぽっぽ通信

発行日：毎月 1 回

配　布：地域の関係機関等

内　容：子育てに関する情報・毎月の活動予定等

5　体験事業

(1)　給食体験会

目　的：親子で交流しながら食事を楽しみ、試食を通して幼児食の実際を体験する。
　　また、園児と一緒に食べることで保育園の様子が紹介できる。

日　時：年 1 回

会　場：支援室

対　象：0 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

(2)　リズムあそび

目　的：園児と交流しながら、親子一緒にリズム運動を楽しむ。

日　時：月 1 回　10 時から 10 時 30 分

会　場：支援室

対　象：1 歳から概ね 3 歳までの子どもとその保護者及びその祖父母

内　容：ピアノの音に合わせて体を動かす。

【実施状況】

1　子育て相談

(1)　相談状況　　（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	7	8	5	7	5	5	9	8	2	5	0	3	64

(2)　相談内容

基本的生活習慣 (37件)	食事	27件	発育・発達 (9件)	ほふく・歩行	1件
	(授乳)	(5件)		身体発達	3件
	(離乳・離乳食)	(21件)		言語	0件
	(食事)	(1件)		社会性	4件
	睡眠	4件		性格	1件
	排泄・他	6件		くせ	0件
生活環境 (1件)	家庭	1件	育児方法 (3件)	健康管理	1件
	近隣・地域	0件		しつけ・教育の仕方	2件
病　　気		0件	その他 (14件)	育児に関係あり	4件
				保育所入所	4件
				その他	6件
				全体	64件

2　広場事業

(1)　施設開放

①　参加状況　　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	88	128	135	171	121	132	139	118	94	115	120	112	1,473
子	97	142	145	181	128	148	152	125	95	120	123	119	1,575
計	185	270	280	352	249	280	291	243	189	235	243	231	3,048

②　参加の様子

・利用者の多くは1歳児で、それぞれの生活リズムに合わせて来所し、親子で遊びや交流を楽しんでいた。

・繰り返して利用することにより、親同士が顔馴染みになり、お互いに情報交換やお喋りをしてリフレッシュしている姿が見られた。

・園庭で遊具で遊んだり、園児と一緒に走ったり、混じったりしながら遊びを楽しんでいた。

(2)　ぽっぽルーム

①　参加状況　　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	5	2	6	9	2	0	5	3	7	5	5	0	49
子	6	2	7	9	2	0	5	3	8	5	6	0	53
計	11	4	13	18	4	0	10	6	15	10	11	0	102

②　参加の様子

・誕生会では、参加する年齢に合わせた企画を実施したため、お祝い企画に興味をもって一緒に歌ったりして喜んでいる姿が見られた。

・身長・体重測定では、大きくなった子どもの成長を確認していた。

(3)　にこにこ赤ちゃん

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	7	4	8	6	3	8	4	3	5	3	6	3	60
子	7	4	9	6	3	8	4	3	5	3	6	3	61
計	14	8	17	12	6	6	8	6	10	6	12	6	121

②　参加の様子

・近隣の利用者の来所で、親同士で会話し、ゆったりとした時間を過ごしていた。また、看護師による身長・体重測定では、身体についての悩みを相談して姿があった。

(4)　にこにこ１歳

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	6	7	8	5	7	8	5	4	2	2	4	5	63
子	6	7	7	5	7	9	5	4	2	2	4	6	64
計	12	14	15	10	14	17	10	8	4	4	8	11	127

②　参加の様子

・親子で季節の飾りを作り、喜んで完成させている様子が見られた。

・企画を重ねるごとに利用者が顔馴染みになり、楽しんで交流していた。

・ふれあい遊びでは、回数を重ねるごとに動き方を覚え、喜んで体を動かしていた。

(5)　にこにこ２歳

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	2	1	4	6	5	4	6	7	3	2	5	7	52
子	3	1	4	7	5	5	6	7	3	2	6	8	57
計	6	2	8	13	10	9	12	14	6	4	11	15	109

②　参加の様子

・制作では、描いたり、貼ったりすることに興味を持ち、積極的に取り組み、楽しんでいた。

・ふれあい遊びでは、保育者の真似をして親子で体を動かし、喜んでいる様子が見られた。

(6)　遊びの会

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	－	3	7	7	－	8	3	5	－	－	－	－	33
子	－	3	7	9	－	10	3	5	－	－	－	－	37
計	－	6	14	16	－	18	6	10	－	－	－	－	70

②　参加の様子

・天気の良い日は、青山公園を利用し、散歩して親子で楽しんだ。

・集会室で季節の飾りづくりや遊戯室で体を動かす遊びを楽しんでいた。

3　学び事業

◎ 子育て講演会

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	2	4	3	4	12	5	10	14	3	5	7	8	77
子	2	4	3	4	11	5	9	14	3	5	7	8	75
計	4	8	6	8	23	10	19	28	6	10	14	16	152

②　参加の様子

・「お話し会」では、親子で一緒に歌を歌ったり、触れ合いながら楽しんでいた。

・「絵の具感触遊び」は、絵の具の感触を味わい、伸び伸びと紙に表現している姿が見られた。

・「ストレッチ講座」では、託児保育を実施したため、ゆっくりと集中してストレッチをして楽しんでいる姿が見られた。

4　広報事業（ぽっぽ通信）

毎月１回、子育てに関する情報や毎月の活動予定等を記載した情報紙を発行し、地域の関係機関等に配布した。

5　体験事業

(1)　給食体験会

①　参加状況とメニュー

12月18日（水）	親子　5組 （10人）	（12月のメニューから） ご飯、千草焼、厚揚げと切り干し大根の煮物、じゃが芋のごまサラダ かぶとわかめの味噌汁、オレンジ

②　参加者の感想

・保育園での量や味付けを知ることができてよかった。

・同じぐらいの年齢の子どもたちの食事の様子を見ることができてよかった。

・普段食べていないものがメニューにあり参考になった。

(2) リズムあそび

①　参加状況　（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
親	－		5	5	－	－	－	－	－	4	4	－	18
子	－		5	4	－	－	－	－	－	4	4	－	17
計	－		10	9	－	－	－	－	－	8	8	－	35

②　参加の様子

・3歳児クラスと一緒にリズム遊びをすることにより動き方がよく分かり、親子で真似して体を動かして楽しんでいた。

・ホールで行うことにより伸び伸びと体を動かしている姿が見られた。

＜子育てアンケート＞

目　的：支援センターを利用する子育て家庭の現状を把握し、今後の支援活動の参考にするため。
実施日：令和６年６月
対　象：支援センター利用者（親子 31 組）

【調査結果】

≪子育ての悩みについて≫　　**回答人数 31 人**（複数回答）

◎　子育てで困っていることがありますか

①	自分だけの時間がとれない	17 人
②	自分の子育てに自信がない	9 人
③	子どもと一緒に遊びに行ける場所がない	10 人
④	同世代のお母さんと話す場がない	4 人
⑤	子どもへの関わり方や発達について不安がある	9 人
⑥	食事やトイレのことなど年齢に応じた関わり方の情報がない	2 人
⑦	悩みを聞いてくれたり、相談にのってくれたりする人がいない	1 人
⑧	その他	1 人
⑨	困っていることは特にない	5 人

◎　上記の項目において、支援センターを利用する中で解消できたことがありましたか？
番号を記入してください。

①－1 人　②－3 人　③－15 人　④－11 人　⑤－1 人　⑦－7 人　⑧－7 人

◎　支援センターに来る目的は何ですか？

・リフレッシュになるため　3 人　・子ども同士で遊ばせるため　22 人　・大人と話せる　12 人
・子育ての相談をするため　5 人　・子どもに受けてもらいため　1 人　・安心して遊べる　1 人
・保育園に入るまでに慣れさせたい　1 人　・疲れさせたい　1 人

◎　支援センターを利用して良かったことは何ですか？

・お母さん方と話せる、顔見知りができた　12 人　・いろいろなおもちゃで遊べる　9 人
・悩みを聞いてもらえたり、共有できたり、相談ができた　6 人　・息抜きができる　5 人
・子どもが楽しそうにしている　4 人　・子どもが他の人と関われるようになった　4 人
・同世代の子どもと遊び、良い刺激がもらえる　3 人　・情報が得られる　2 人
・生活リズムが整う　1 人　・雨の日の遊び場　1 人　・いい刺激になり昼寝をするようになった　1 人
・企画でいろいろな体験ができる　1 人

◎　支援センター利用の際、困ったことは何ですか。

・行きたい時間に空いていない　2 人
・他の子との関わりが難しい　1 人
・二人連れて行くので、目を離したときに他の子に怪我をさせないか心配

◎ **支援センターに行ってほしい企画はなんですか？**

・体操、ダンス、お遊戯、ベビーダンス、手遊び、歌　5 人
・ふれあい遊び　2 人
・給食を一緒に食べる
・絵本の読み聞かせ
・身体測定
・散歩
・広い場所で走る
・同年代のお母さんたちと話すだけの日

◎ **支援センターへのご意見がありますか？**

・いつも楽しい場を提供していただきありがとうございます。　10 人
・支援センターがあって助かります。　3 人
・丁寧に話を聞いてもらって感謝している。
・毎月の企画を楽しみにしている。
・現状維持がいい。
・予定をホームページで確認できるので助かる。
・幼稚園の夏休み期間の午後も水遊びができる日があるといい。

【アンケートのまとめ】

・アンケートでいただいた意見等については、改善、見直しに努めるものとする。
・多くの利用者が同じような悩みを抱えていることが分かり、利用者の気持ちに寄り添いながら、支援していく必要性を感じた。
・次年度も、早い時期にアンケートを実施し、企画に生かせる内容を考えていきたい。

11　令和６年度入所児童数統計

（1）　入所児童数の状況

（単位：名）

月／年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和５年度
0歳児	8	10	11	14	16	18	18	18	20	20	21	21	195	172
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	216
2歳児	22	22	22	22	22	22	22	23	22	23	23	23	268	264
3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252	292
4歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	24	24	24	24	296	300
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	23	283	300
計	118	120	121	124	126	128	128	128	128	129	130	130	1,510	1,544

盛岡市　1,345名　　滝沢市　165名

（2）　延長保育事業児童数の状況

（単位：名）

月／時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和５年度
1時間	24	23	27	20	24	36	29	22	28	28	22	24	307	300
2時間	4	5	3	4	5	4	4	9	4	3	1	2	48	102
計	28	28	30	24	29	40	33	31	32	31	23	26	355	402

（3）　体調不良児対応型病児保育事業利用児童数等の状況

（単位：名・件）

月／区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和５年度
児童数	14	12	9	16	10	11	28	2	17	14	11	11	155	257
相談件数	0	3	2	2	3	2	2	0	3	0	2	1	20	26

（4）　副食費徴収児童数の状況

（単位：名・件・％）

月／区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和５年度
対象児童	61	61	61	61	61	57	57	57	57	57	57	57	704	763
徴収数	61	61	61	61	61	57	57	57	57	57	57	57	704	763
徴収率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

（５）　年齢別委託費の状況

（単位:円）

	標準	短時間
０　歳　児	215,070	210,620
１・２歳児	131,310	126,860
３　歳　児	72,680	68,230
４歳児以上	55,940	51,490

※月額委託費は、令和7年2月1日現在

（６）　職員数の状況

（単位：名）

職　種	人数	職種	人数
園長	1	臨時保育士	14
主任保育士	1	臨時栄養士	1
主幹兼看護師	1	臨時調理師	2
副主任保育士	1	時間給保育士	4
保育士	6	時間給看護師	1
調理師	1	時間給調理員	1
事務員	1	時間給園務員	1
		小計	24
小計	12	合計	36

※令和7年3月31日現在

（７）　健康診断実施状況

（単位：名）

区　分	実施年月日	担当医	受診者数
内　科	5月22日 10月30日	鈴木　一彦	109 121
歯　科	6日27日	波紫　修一	114
眼　科	5日16日	村田　正敏	111
耳鼻科	5日15日	小田島葉子	117

事業報告の附属明細書

令和６年度事業報告には，社会福祉法施行規則第２条の 25 第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人岩手県同胞援護会

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（自）令和6年4月1日　（至）令和7年3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入	保育事業収入	547,838,000	548,331,556	−493,556	
		■■■■■事業収入	82,140,000	82,315,603	−175,603	
		経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0	
		受取利息配当金収入	29,000	88,809	−59,809	
		その他の収入	9,893,000	9,929,326	−36,326	
		事業活動収入計（1）	639,950,000	640,715,294	−765,294	
	支出	人件費支出	504,423,000	502,983,788	1,439,212	
		事業費支出	55,952,000	54,428,707	1,523,293	
		事務費支出	44,478,000	42,831,438	1,646,562	
		支払利息支出	573,000	572,005	995	
		その他の支出	7,149,000	7,099,860	49,140	
		事業活動支出計（2）	612,575,000	607,915,798	4,659,202	
	事業活動資金収支差額（3）＝（1）－（2）		27,375,000	32,799,496	−5,424,496	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	7,458,000	7,458,000	0	
		施設整備等収入計（4）	7,458,000	7,458,000	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,520,000	17,520,000	0	
		固定資産取得支出	11,273,000	11,269,675	3,325	
		固定資産除却・廃棄支出	871,000	871,000	0	
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,526,000	2,525,160	840	
		施設整備等支出計（5）	32,190,000	32,185,835	4,165	
	施設整備等資金収支差額（6）＝（4）－（5）		−24,732,000	−24,727,835	−4,165	
他の活動による	収入	投資有価証券売却収入		0	0	
		積立資産取崩収入	14,274,000	14,276,360	−2,360	
		その他の活動収入計（7）	14,274,000	14,276,360	−2,360	
	支出	積立資産支出	20,526,000	26,316,969	−5,790,969	
		その他の活動支出計（8）	20,526,000	26,316,969	−5,790,969	
	その他の活動資金収支差額（9）＝（7）－（8）		−6,252,000	−12,040,609	5,788,609	
予備費支出（10）			2,200,000 −67,000		2,133,000	
当期資金収支差額合計（11）＝（3）＋（6）＋（9）－（10）			−5,742,000	−3,968,948	−1,773,052	
前期末支払資金残高（12）			163,661,416	166,342,240	−2,680,824	
当期末支払資金残高（11）＋（12）			157,919,416	162,373,292	−4,453,876	

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）令和6年4月1日　（至）令和7年3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	548,331,556	527,959,671	20,371,885
		■■■■■事業収益	82,315,603	75,526,370	6,789,233
		経常経費寄附金収益	50,000	50,000	0
		サービス活動収益計（１）	630,697,159	603,536,041	27,161,118
	費用	人件費	503,308,397	468,490,889	34,817,508
		事業費	54,428,707	51,883,092	2,545,615
		事務費	42,831,438	35,869,000	6,962,438
		減価償却費	53,230,152	53,048,657	181,495
		国庫補助金等特別積立金取崩額	−33,502,806	−33,389,916	−112,890
		その他の費用	0	0	0
		サービス活動費用計（２）	620,295,888	575,901,722	44,394,166
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		10,401,271	27,634,319	−17,233,048
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	88,809	2,248	86,561
		その他のサービス活動外収益	9,929,326	8,004,267	1,925,059
		サービス活動外収益計（４）	10,018,135	8,006,515	2,011,620
	費用	支払利息	572,005	609,248	−37,243
		その他のサービス活動外費用	7,099,860	7,363,694	−263,834
		サービス活動外費用計（５）	7,671,865	7,972,942	−301,077
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		2,346,270	33,573	2,312,697
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）			12,747,541	27,667,892	−14,920,351
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	7,458,000	500,000	6,958,000
		特別収益計（８）	7,458,000	500,000	6,958,000
	費用	固定資産売却損・処分損	871,008	8	871,000
		国庫補助金等特別積立金積立額	7,458,000	500,000	6,958,000
		特別費用計（９）	8,329,008	500,008	7,829,000
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）		−871,008	−8	−871,000
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）			11,876,533	27,667,884	−15,791,351
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）		180,762,944	157,340,060	23,422,884
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）		192,639,477	185,007,944	7,631,533
	基本金取崩額（１４）		0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）		9,867,000	1,655,000	8,212,000
	その他の積立金積立額（１６）		22,400,000	5,900,000	16,500,000
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		180,106,477	180,762,944	−656,467

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和7年3月31日現在

（単位：円）

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	177,505,258	185,145,307	−7,640,049	流動負債	54,792,126	56,599,467	−1,807,341
現金預金	126,330,320	132,525,242	−6,194,922	事業未払金	14,492,584	15,810,018	−1,317,434
事業未収金	36,911,791	35,677,450	1,234,341	１年以内返済予定設備資金借入金	17,520,000	17,520,000	0
未収補助金	14,185,500	16,864,968	−2,679,468	１年以内返済予定リース債務	2,525,160	1,478,400	1,046,760
前払費用	77,647	77,647	0	預り金	242,011	227,263	14,748
				職員預り金	397,371	2,765,786	−2,368,415
				賞与引当金	19,615,000	18,798,000	817,000
固定資産	663,553,430	688,765,991	−25,212,561	固定負債	162,578,014	179,455,010	−16,876,996
基本財産	549,101,562	584,382,711	−35,281,149	設備資金借入金	125,642,000	143,162,000	−17,520,000
土地	18,000,000	18,000,000	0	リース債務	3,663,660	1,478,400	2,185,260
建物	531,101,562	566,382,711	−35,281,149	退職給付引当金	33,272,354	34,814,610	−1,542,256
その他の固定資産	114,451,868	104,383,280	10,068,588	負債の部合計	217,370,140	236,054,477	−18,684,337
建物	2	76,861	−76,859	純資産の部			
構築物	8,830,340	11,622,290	−2,791,950	基本金	12,437,864	12,437,864	0
器具及び備品	4,535,427	5,767,114	−1,231,687	国庫補助金等特別積立金	369,609,249	395,654,055	−26,044,806
有形リース資産	6,188,820	2,956,800	3,232,020	その他の積立金	61,534,958	49,001,958	12,533,000
ソフトウェア	89,467	143,147	−53,680	人件費積立金	15,561,000	9,761,000	5,800,000
投資有価証券	500	500	0	施設整備等積立金	24,054,958	26,796,958	−2,742,000
措置施設繰越特定資産	11,245,000	13,987,000	−2,742,000	保育所施設・設備整備積立金	21,919,000	12,444,000	9,475,000
施設整備等積立資産	16,809,958	16,809,958	0	次期繰越活動増減差額	180,106,477	180,762,944	−656,467
保育所繰越積立資産	11,561,000	5,761,000	5,800,000	（うち当期活動増減差額）	11,876,533	27,667,884	−15,791,351
保育所施設設備整備積立資産	21,919,000	12,444,000	9,475,000				
退職給付引当資産	33,272,354	34,814,610	−1,542,256	純資産の部合計	623,688,548	637,856,821	−14,168,273
資産の部合計	841,058,688	873,911,298	−32,852,610	負債及び純資産の部合計	841,058,688	873,911,298	−32,852,610

計算書類に対する注記（法人全体用）

別紙1

1. 継続事業の前提に関する注記
・該当なし

2. 重要な会計方針
(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
・満期保有目的の債券等－償却原価法(定額法)
・満期保有目的の債券以外の有価証券
1. 時価のあるもの－末日の市場価格等に基づく時価法
2. 時価のないもの－移動平均法による原価法
(2) 固定資産の減価償却の方法
・平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
・リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
(3) 引当金の計上基準
・賞与引当金の計上額は、支給対象期間に基づき当期に属する部分を計上している。
・退職給付引当金の計上額は、岩手県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。
(4) 消費税等の会計処理
・消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 重要な会計方針の変更
・該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度
・独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職手当共済制度
・岩手県社会福祉協議会の実施する民間社会福祉事業職員共済制度

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分
当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。
(1) 法人全体の計算書類(会計基準省令第1号第1様式、第2号第1様式、第3号第1様式)
(2) 事業区分別内訳表(会計基準省令第1号第2様式、第2号第2様式、第3号第2様式)
当法人では、事業区分が社会福祉事業のみのため作成を省略している。
(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
(4) 公益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、公益事業を実施していないため作成を省略している。
(5) 収益事業における拠点区分別内訳表(会計基準省令第1号第3様式、第2号第3様式、第3号第3様式)
当法人では、収益事業を実施していないため作成を省略している。
(6) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
ア 法人本部拠点（社会福祉事業）
「法人本部」
イ ■■■拠点（社会福祉事業）
「■■■」
ウ 青山保育園拠点（社会福祉事業）
「青山保育園」
エ くろいしの保育園拠点（社会福祉事業）
「くろいしの保育園」
オ みたけ保育園拠点（社会福祉事業）
「みたけ保育園」

6. 基本財産の増減の内容及び金額
基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	18,000,000			18,000,000
建物	566,382,711	10,129,000	45,410,149	531,101,562
合計	584,382,711	10,129,000	45,410,149	549,101,562

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
・該当なし

8. 担保に供している資産

青山保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産)	138,019,334円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	10,197,000 円

くろいしの保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産)	109,317,760円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	25,704,000 円

みたけ保育園拠点区分

担保に供されている資産は以下のとおりである。

建物(基本財産)	195,915,380円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	107,261,000 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地(基本財産)	18,000,000		18,000,000
建物(基本財産)	1,168,990,927	637,889,365	531,101,562
建物	1,468,000	1,467,998	2
構築物	52,728,171	43,897,831	8,830,340
器具及び備品	42,416,990	37,881,563	4,535,427
有形リース資産	19,020,060	12,831,240	6,188,820
合計	1,302,624,148	733,967,997	568,656,151

10. 債権の債権金額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	36,911,791		36,911,791
未収補助金	14,185,500		14,185,500
合計	51,097,291		51,097,291

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

・該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

・該当なし

13. 重要な偶発債務

・該当なし

14. 重要な後発事象

・該当なし

15. 合併又は事業の譲渡若しくは譲受けが行われた場合には、その旨及び概要

・該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

・該当なし